

香港株式市場フラッシュ

香港・中国株式市場は EV 自動運転が重要テーマへ

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

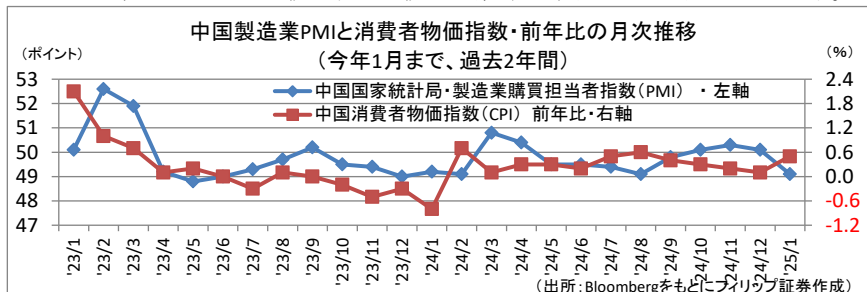
2025 年 2 月 12 日号(2月12日作成)

“中国経済は製造業に不安、内需の動向がポイント”

中国経済の足元の状況はまだまだ模様が續いている。国家統計局発表の1月の中国製造業購買担当者景気指数(PMI)は49.1と、前月比1.0ポイント低下。4ヵ月ぶりに好調・不調の境目である50を下回った。生産や受注が不振だった。柱となる新規受注が4ヵ月ぶり、生産も5ヵ月ぶりにそれぞれ50を割った。

中国経済は、9月下旬から中国当局の相次ぐ景気刺激策の発表で底打ちの兆しを示してきたものの、内需不足に加え、米トランプ政権発足に伴う関税政策が中国からの輸出に対する重荷になると想定されることから受注と生産を抑制せざるを得ない面が窺われる。米国が2/10に実施した中国からの輸入に対する10%の追加関税が中国経済にどのように影響を及ぼすのかが注目される。

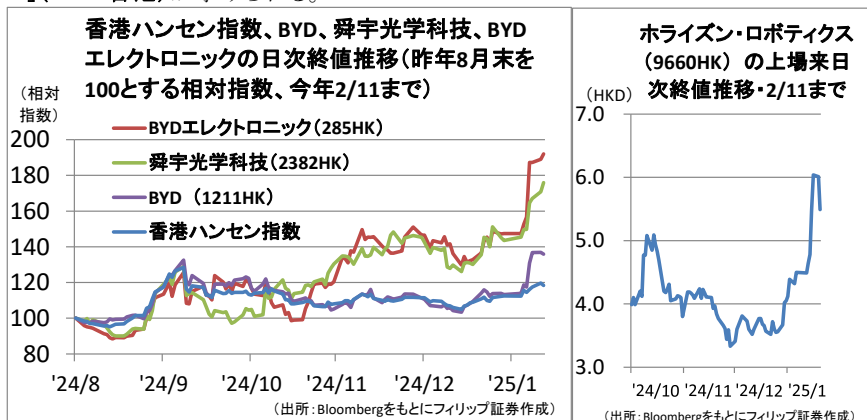
その一方、1月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比0.5%上昇した。伸び率は昨年12月の0.1%から加速し、5ヵ月ぶりの高水準だった。旧正月(春節)の連休が昨年の2月に対して今年は1月に始まったため、消費者が食料品を買いためしたり旅行への支出に充てたことも物価を押し上げた可能性がある。実際に1月は豚肉が前年比13.8%、旅行が同7.0%の上昇率だった。中国政府はエアコンや洗濯機などの家電の買い替え時に補助金を出す政策を拡充する政策を発表しているものの、不動産不況が続く中で持続的な効果を期待しにくい面もあるだろう。



“BYD「天神之眼」で EV は ADAS と自動運転が焦点”

中国電気自動車(EV)大手の比亞迪[BYD](1211 香港)は2/10に開催した戦略発表会で、低価格モデルを含む殆どモデルで先進運転支援システム(ADAS)の「天神之眼」の提供を開始した。今までEVはグローバル株式市場においてクリーンエネルギー関連として捉えられがちだった。今回の戦略発表会は、EVにおいてADASや自動運転が重要な投資テーマになる画期的イベントになるものと期待される。

主なサプライヤーとして大きな恩恵を受ける銘柄として、BYDの子会社で電子機器受託製造(EMS)業者として部品の設計から完成品まで垂直統合型の一貫体制に強みを持つ、比亞迪電子[BYD エレクトロニクス](285 香港)、大手光学部品メーカーで、車載イメージングシステム向けなどに強みを有する舜宇光学科技集団[サンイー・オプティカル・テクノロジー](2382 香港)、北京を拠点とする自動運転テクノロジー企業で昨年10/24に香港に新規上場した地平線機器人[ホライズン・ロボティクス](9660 香港)が挙げられる。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全96銘柄)における終値の昨年末来騰落率

前回基準日: 20250128

基準日: 20250210

順位	2024年末来騰落率・上位10銘柄	(%)	前回順位
1	中芯国際集成电路製造 [SMIC]	50.3	3
2	金蝶国際軟件集团 [キングディー・ソフトウェア]	49.8	2
3	小鵬汽車	45.2	1
4	金山軟件 [キングソフト]	30.8	6
5	比亞迪電子(国際) [BYDエレクトロニクス]	29.0	44
6	アリババ・グループ・ホールディング	28.0	15
7	小米集团 [シャオミ]	26.8	9
8	華虹半導体 [ファホン・セミコンダクター]	26.3	19
9	阿里健康信息技術 [アリババヘルス・インフォメーション・テクノロジー]	25.6	11
10	藥明生物技術 [ウーシー・バイオリジクス・ケイマン]	24.1	21

順位	2024年末来騰落率・下位10銘柄	(%)	前回順位
96	East Buy Holding Ltd	-23.9	89
95	ニュー・オリエンタル・エデュケーション・アンド・テクノロジー	-20.8	96
94	金沙中国 [サンズ・チャイナ]	-19.0	92
93	中国蒙牛乳業 [チャイナ・モンニユー・デイリー]	-11.8	93
92	長江基建集团 [チョンコン・インフラストラクチャーHDS]	-10.8	84
91	銀河娛樂 [ギャラクシー・エンターテインメント]	-9.2	42
90	恒基兆業地産 [ヘンダーソン・ランド・デベロップメント]	-8.7	86
89	香港鐵路 [MTRコーポレーション]	-8.4	91
88	華潤電力控股 [チャイナリソース・パワー・ホールディングス]	-8.0	85
87	電能実業 [パワー・アセッツHldg]	-6.7	81

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2025年2月: 中国主要経済指標】

- 2月3日(月)
 - ・1月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.5、結果50.1
- 2月5日(水)
 - ・1月(財新)サービス部門PMI: 前回52.2、結果51.0
- 2月7日(金)
 - ・1月外貨準備高: 前回3.202兆USD、結果3.209兆USD
- 2月9日(日)
 - ・1月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+0.1%、結果+0.5%
 - ・1月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲2.3%、結果▲2.3%
- 2月9日(日)~15日(土)
 - ・1月資金調達総額: 前回32.26兆元
 - ・1月新規人民元建て融資: 前回18.09兆元
 - ・1月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+7.3%
- 2月19日(水)
 - ・1月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.08%
- 2月20日(木)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.10%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.60%
- 2月25日(火)
 - ・1年中期貸出ファシリティ金利: 前回2.0%
- 3月1日(土)
 - ・2月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.1
 - ・2月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.2

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、当レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。